

小売業の原点を再確認

甲信越ブロック大会を開催

ACTIVE KUMIAI

山梨県化粧品小売協同組合



大会風景

全国化粧品小売協同組合連合会は、平成24年5月22日甲府市「甲府富士屋ホテル」で山梨県化粧品小売協同組合と共催で第37回甲信越ブロックやまなし大会を開催した。当日は、県内外から参加者70名あまりが参加した。

近年は、ドラッグストアやインターネットなどの販売拡大による低価格競争が激化し小売業の経営は厳しい状況が続いている。そこで、大会に先立ち、フェイストゥーフェイスの重要性を再確認してもらい接客技術の向上を目的とした研修会が開催された。

大会では、当番県の西山武夫甲信越ブロック長、山梨県化粧品小売協同組合連合会中神美郎理事長より「個々の力は小さいが情報を共有し連携して頑張って行きましょう。」と歓迎の挨拶を行った。

平成23年度の事業報告と平成24年度の事業計画、全国化粧品小売協同組合連合会中神美郎理事長より「時代が変わる！我々も変わる！」をテーマに提案並びに報告が行われた。

また来賓として、内藤悦次中央会長が「モノを売ることだけが小売業の役割ではありません。商いを通じて街づくりや地域文化の担い手としての役割、地域コミュニティの場として地域を代表する「まちの顔」になって頂くことを期待します。」と祝辞を述べた。

大会終了後、甲州ワインに舌鼓を打ちながら盛大に懇親会が催された。

また、翌日は新潟県化粧品小売業協同組合と組合事業や運営に関する情報や意見交換が活発に行われた。



熱心に聞き入る参加者